

日本通信特機株式会社

(1) 事業所の概要

○所在地：福井市照手1丁目2-15

○創業：昭和55年5月15日

○代表者職・氏名：代表取締役 十河 元太郎

○業種：建設業(電気通信工事・電気工事・消防設備工事)

○従業員数：27人

○事業内容：主に電話・情報設備工事を行っています。

(2) 事業所で取り組んでいる健康づくり

【取組みの目標】

「健康に関する生活習慣および職場環境の改善」

【取組みの内容】

⑤【食生活改善】

- ・熱中症対策として、社内勤務の従業員向けにウォーターサーバーを設置。
- ・自動販売機に特定保健用飲料を導入予定。
- ・毎朝のアルコールチェックの早期義務付けにあわせて、飲酒量低減への呼びかけ。

④【健康課題に基づいた対策】

- ・「熱中症に強い体づくりに取り組む」を目標に、熱中症対策ドリンク、塩あめを購入し常備。
- ・社外作業時は、クーラーボックスを持参させてこまめに水分補給するように指導。
- ・技術職員用にファン付ジャケットを購入。
- ・従業員の健康を考え、毎週水曜日を「ノー残業デー」の設定、長時間労働防止を強化してワークライフバランスを充実。
- ・年末調整や給料明細を電子化により、業務効率を向上。
- ・地域マラソン大会へ出場支援等、運動会場の創造。

⑧【女性の健康保持・増進に向けた取り組み】

- ・毎年、女性社員には乳がん・子宮がん検診(2年1回)を受診推奨により受診率をUP。

⑩【従業員の感染症予防】

- ・社員の新型コロナワクチン接種の管理と接種翌日のワクチン休暇の推奨。
- ・同居家族のコロナウイルス感染に対する看病の為の特別有給の付与。
- ・検査キットの常備。県外出張後の検査を義務付け。
- ・体温計の常備。毎朝検温し、検温記入シートに記載。検温器の設置。
- ・来訪者、接客時はペットボトルを用意し感染を予防。
- ・ノベルティとして発熱チェックカードを配布し感染予防への意識向上に貢献。
- ・従業員のデスク間にパーテーションを設置。
- ・コミュニケーションツール(LineWorks)を導入。社内の会話頻度低減により感染リスクを下げる。また、スタンプトークを活用することでメンタルUP。
- ・濃厚接触者等の自宅待機期間における在宅ワーク環境整備。

⑪【喫煙率低下に向けた対策】

- ・煙草の吸いすぎに対して注意喚起を実施。
- ・健康被害の少ない電子タバコへの切り替えを推奨。
- ・喫煙室を屋内に設け、吸い殻用パケツを撤去し、携帯灰皿の使用を義務化。それに伴い、自己責任と、吸い過ぎ抑止を喚起。

【取組みによる成果】

- ・熱中症で体調不良を起こした従業員0名
- ・毎年乳がん検診、子宮頸がん検診受診者3名(女性4名)
(残り1名は前向きに受診する予定。)
- ・社内コロナ感染者ゼロ
(2022年7月中旬まで)
- ・社内では禁煙できた従業員 1名
電子タバコに切り替えた従業員 2名



(足羽川ふれあいマラソン2022)



(ノベルティ用発熱CHECKカード)

(3) 今後の健康づくりの取組み

【今後の目指す姿】

- ・「エコ通勤・カーセーブ運動」の推進
- ・健康寿命の延伸と就業機会の確保

【重点的に取り組む内容】

- ・定期的な健康診断の受診。
身体活動・運動の重要性を理解し、自分に合った方法でムリなく継続し、社員・家族と共に健康意識を高める。